

## 令和3年度 北海道住宅対策審議会 第1回専門部会 議事概要

日 時：令和3年5月18日（火） 13:30～15:30

場 所：第2水産ビル 4階 4F会議室

参加者：（委員）下記のとおり

役職	氏名	現職
部会長	森 傑	北海道大学 大学院工学研究院 教授
委 員	片山 めぐみ	札幌市立大学 デザイン学部 講師
委 員	片桐 由喜	小樽商科大学 商学部 教授
委 員	牧野 准子	ユニバーサルデザイン有限会社環工房 代表取締役
委 員	大谷 正則	（一社）北海道建設業協会 建築委員会副委員長
委 員	佐藤 国雄	（公社）北海道宅地建物取引業協会 常務理事
委 員	青山 剛	室蘭市長

（事務局） 細谷住宅局長、飯沼課長、本荘補佐、池田補佐ほか

### 【次第】

#### 1 開会

#### 2 議事

- (1) 令和2年度第4回専門部会における主なご意見について 資料1
- (2) 答申（素案） 参考資料・資料2  
「これからの北海道における住宅政策のあり方」について
- (3) 北海道における住生活の理想像について 資料3
- (4) 施策の一体的な推進について 資料4

#### 3 その他

#### 4 閉会

## 1 開会

<あいさつ、出席者の紹介等>

## 2 議事

(1) 令和2年度第4回専門部会における主なご意見について

<事務局より前回の意見を説明>

～委員の意見なし～

(2) 令和2年度第4回専門部会における主なご意見について

<事務局より諮問の趣旨、概要版と本編（I章、III章、V章）を説明>

### 【大谷委員】

テレワークできない人などへの課題として、非接触対応の新技术の導入なのか、繋がりがわからない。

### 【森部会長】

非接触対応は「新たな生活様式」に入るかと思うため、記載の「新たな生活様式」を「生活と仕事の環境の変化」のような表現に変更すると良いと思う。

### 【大谷委員】

「新型コロナウイルス感染症の影響」と「移住への関心の高まり」は別物なのかと思う。

### 【森部会長】

「都市から地方への移住」といったように補足すると、誤解がないかと思う。

### 【大谷委員】

P2（3）新型コロナウイルス感染症による影響について、1段落目の締めくくりで「可能性がある」という表現を見直したほうが良い。他の文章では、断言した表現になっているため。

### 【森部会長】

「可能性がある」ではなく「予想される」に変更すると良いと思う。

### 【青山委員】

働く方だけでなく学生目線として、GIGAスクールや大学の遠隔授業などの教育に関する課題に対応すべきと思う。

それに応じて、通信インフラが不十分である家庭もあることから、非接触型の新技术の導入として、対応すべきと思う。

### 【牧野委員】

新型コロナウイルス感染症による影響において、一般の方の離職者が増える中、障がい者雇用については、求人すらない状況であった。今年4月1日より法定雇用率の引上げがあったことやこれからも工夫があることを参考までに情報提供する。

**【森部会長】**

新型コロナウイルス感染症については、5年後には風化する可能性もあるが、今時点での計画として、策定した計画的な見方は必要かと思う。

**【片桐委員】**

居住者の視点において、少子高齢化や共働き世帯の増加などに加えて、非正規雇用の増加に伴い、所得が少なく持ち家などのローンを組めない人が増える状況になることから、公的賃貸住宅などの供給が重要となると思うため、非正規労働や低所得者の増加を位置づけると良いと思う。

**【佐藤委員】**

住宅事業者が建設業なのかハウスメーカーなのか区別がわからない。

建設業従事者のデータはH7年と古いように思える。また、H24, H27年のデータを利用した不動産事業者の状況について、「偏在」という表現がピンとこない。これらのデータを基に技術者・事業者・不動産事業者すべてが減っていると表現しているが、実態と合っているのか疑問に思う。

**【森部会長】**

建設業従事者のデータについて、「H7年をピークに年々減っている」という見方ができるかと思う。また、H27年以降のデータがないか気になるところだが、減っていることについては、確かである。

また、不動産事業者の偏在について、石狩圏への集中ということであると思うが、事務局で検討願う。

**【片山委員】**

住民互助の場所の問題が多いことがある。介護サービスなどを地域住民対応に頼らざるを得ない状況の中で、日常生活総合支援事業が4年前頃に法整備されているが、それらの対応ができる場所がない状況。また、遠い公的施設では地域住民で徒歩圏内での対応することが困難である。住宅ストックの住宅以外の用途のニーズが高まっている状況であることから、地域住民のために、サービス提供できる施設や住宅ストックの整備や、支援に対応した施設情報の提供などができる仕組みづくりがあると良いと思う。

**【青山委員】**

住民互助について、庁内会館や空き民家などのハードはある程度存在していることから、地域コミュニティへの柔軟な対応として、福祉政策の課題と感じた。

**【牧野委員】**

建物などのハード面が整っても、バリアフリーや地域コミュニティなどのソフト面が必要と感じた。

災害に関することとして、応急仮設住宅の整備について、バリアフリー対応住戸は限られていることから、誰もが入居できる応急仮設住宅として整備することを検討いただきたい。

**【片桐委員】**

目標2において、「高齢者向け住宅の整備・活用」と記載していることの意図として、高齢者のための住宅を整備するのか、住宅をリフォームして長く住み続けられるようになるのか、短い文章のため、わからない。

将来を見据えてバリアフリー住宅を整備するのか、多少バリアフルな住宅を整備し、将来的にはサービスを受け暮らし続け、住めなくなれば、サービス付き高齢者住宅などに住替えるのか、といった三段構えで位置づけようとしているのか、短い文章のため、わからない。

施策の方向性について、「良質な子育て・高齢者向け住宅の整備・活用」の「良質な子育て」は誤解を招くため、修正が必要。子育てをするのに必要な良質な住宅なのか。子育て・高齢者に住みやすい住宅と「良質な」は次元が違うように思える。

**【森部会長】**

「良質な」ではなく、子育て・高齢者にふさわしく住みやすいなどの表現が良いと思う。事務局で検討願う。

**【大谷委員】**

市町村営住宅と道営住宅の供給のあり方について、目標4における取組例「地域の避難所となる公営住宅等の整備」といった市町村営住宅では対応が困難であることから、震災や災害の時の住宅確保に向けた道営住宅の役割として位置づけてもらいたい。

**【森部会長】**

可能であれば、日常生活の市町村営住宅と道営住宅の役割・連携と、非常時の役割・連携といった内容を触れられるような表現を検討願いたい。

**【青山委員】**

住生活の安定確保と言いつつ、人口減少といった状況の中、公営住宅の今後について、道の見解を知りたい

**【事務局】**

人口減少を踏まえ、戸数的には減らしていく方向であるが、集中的に減らすことや道営住宅がない市町村をそのままにするのではなく、必要な市町村については、新たに整備し

ていき、市町村の施策と連携して進めていく次第である。

**【青山委員】**

戦後の住宅確保に向けて住宅供給を図ったが、それにより老朽化した公営住宅が多いことから、除却も念頭に置きながら、民間住宅の活用などを組み組みながら、進めていただきたいと思う。

(3) 北海道における住生活の理想像について

<事務局よりⅡ章について説明>

～委員の意見なし～

(4) 施策の一体的な推進について

<事務局よりⅣ章について説明>

**【青山委員】**

脱炭素社会に向けた取組として、20年前からあった「太陽光パネル」を記載すると、時代が変わっていない印象を受けるため、「家庭用燃料電池」などといった最新の技術・設備を付記すべき。

**【大谷委員】**

太陽光パネルについては、電力の買取がなくなり、自己消費しかないため、消費者の負担が大きくなる。太陽光パネルの費用対効果について疑問に思う。

脱炭素に向けた住宅の取組が必要と思うため、検討が必要。

**【森部会長】**

今の状況を踏まえ、太陽光パネルの部分を事務局で検討願う。

**【大谷委員】**

居住者の役割について、「地域コミュニティへの積極的な参画すべき」について、いまの状態では参画できるのか、どうやって参画してもらうことの検討が必要と思う。

**【大谷委員】**

居住者の役割について、「地域コミュニティへの積極的な参画すべき」について、いまの状態では参画できるのか、どうやって参画してもらうことの検討が必要と思う。

**【森部会長】**

「参画すべき」といった上から目線であるため、もう少し柔らかい表現にすべき。

**【牧野委員】**

施策等を進めるためには、全体を通して、人の意識に働きかけるような、啓発できる言

葉を入れられないかと思う。明日は我が身といった自分事だけでなく、将来の地域をつくっていく意識が必要と思う。ゼロカーボンやSDGsなどがあるが、高校生にSDGsの話をした翌日には、全員がペットボトルではなくマイボトルを持ってきたことから、意識を持つことによっていろんなことが変わっていくと感じている。

**【森部会長】**

伝わるような書き方も含めて配慮していきたい。

3 その他

<事務局より次回審議会の予定を説明>

4 閉会

以 上